

6月定例会のあらまし

6月定例会は、2日に招集され、21日までの20日間の会期で開かれました。招集日には、条例改正3件、補正予算1件の計4議案が提出されました。最終日には、農業委員会委員の任命同意20件、議員提出の意見書2件が追加提出され、いずれも原案のとおり可決・同意・採択しました。一般質問は、会期15日目(6月16日)に6人が当面する村政の問題を質問しました。

質疑

問

物価高騰対策事業は、なぜ現金給付ではなく、現物給付である商品券の交付なのか。

答

住民の生活の支援と、商品券取扱店を村内の事業者とすることで、地域経済の活性化を図ることを目的としたため。

令和5年度 補正予算

物価高騰対策事業

一般会計(第2号)の主な内容

補正額：3,848万円増額

補正後の額：54億5,397万6千円

歳入

- 新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金(国) …………… 1,824万9千円増額
- 財政調整基金繰入金 …………… 2,023万1千円増額

歳出

- 物価高騰対策事業 …………… 1,950万6千円増額
- 低所得世帯支援給付金給付事業 …… 1,212万4千円増額

討論

反対

……八木 敏一議員

物価高騰対策事業は制度設計の見直しが必要。なぜ即効性のある現金給付ではなく、現物給付である商品券の交付なのかが疑問である。商工振興も重要であるが、経費的な面からも、現金給付は世帯数分の金額で済み、節約になる。村民の使い勝手を勘案すると、もっと工夫が必要であり反対する。

賛成

……伊藤 秀樹議員

物価高騰対策としての商品券交付や低所得者世帯支援給付金給付などに必要な予算であり、今後も住民の生活環境の一層の向上に努力されることを願い賛成するもの。

(賛成多数で可決)



人事案件

農業委員会委員 20名に同意

20名の農業委員会委員の任命につき同意が求められました。

これに対し、議会は全会一致で同意しました。任期は3年間です。

◆認定農業者

荒川すず香さん(北古政)
大橋 英夫さん(大用水)
尾串 昭憲さん(重宝)
立木 浩之さん(大宝東)
立松 豊大さん(汐除)
野口 繁さん(南枕江)
平野 和実さん(中江)
山口 義博さん(中用水)

◆認定農業者以外

阿部 金義さん(笹之郷)
伊藤 正則さん(梅之郷)
小川 孝さん(古台)
貝沼 朗史さん(北枕江)
小島 進さん(泉之郷)
小林 博之さん(西新政)
佐藤 要さん(北新政)
佐藤 俊光さん(北竹之郷)
高橋 稔さん(三福)
立松 久男さん(大宝西)
村上 善永さん(上用水)
安井 浩さん(東新政)



条例改正

飛鳥村税条例の一部改正

地方税法等の一部を改正する法律等の施行に伴い、改正するもの。

質疑

問 住民負担は増大するのか。

答 結果的には、納税者の負担を増やすものではない。

(全員賛成で可決)

飛鳥村国民健康保険税条例の一部改正

地方税法施行令の一部を改正する政令の施行等に伴い、改正するもの。

質疑

問 後期高齢者支援金等課税額の限度額が20万円から22万円に上がるが、対象となる人の年収はいくらぐらいなのか。

答 例えば、世帯人数3人、固定資産税額20万円で計算すると、約2750万円以上の所得の方が対象と見込まれる。

(全員賛成で可決)

飛鳥村介護保険条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入の減少が見込まれる場合における保険料の減免について整理するため、改正するもの。

(全員賛成で可決)

意見書提出

◎インボイス制度の実施中止を求める意見書の提出について

提出者 伊藤 和利
(全員賛成で採択)

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、経済産業大臣

◎保育所職員の人材定着・確保のため保育士配置基準と公定価格を抜本的に改善し、離職しない保育職場の実現を求める意見書の提出について

提出者 橋本 渉
(全員賛成で採択)

提出先 内閣総理大臣、こども家庭庁長官